

平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月8日

上場会社名 株式会社イメージワン 上場取引所 東
 コード番号 2667 URL <http://www.imageone.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高田 康廣
 問合せ先責任者（役職名） 取締役財務経理部長（氏名） 野村 真一 (TEL) 03-5908-2800
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年9月期第3四半期の業績（平成24年10月1日～平成25年6月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	939	△30.0	△26	—	△35	—	△44	—
24年9月期第3四半期	1,342	△6.9	△75	—	△96	—	△98	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年9月期第3四半期	△1,292.64		—					
24年9月期第3四半期	△2,850.41		—					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第3四半期	793	354	44.7
24年9月期	880	381	43.3

（参考）自己資本 25年9月期第3四半期 354百万円 24年9月期 381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想（平成24年10月1日～平成25年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	2.9	70	—	55	—	50	—	1,450.70

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期3Q	35,211株	24年9月期	35,211株
25年9月期3Q	745株	24年9月期	745株
25年9月期3Q	34,466株	24年9月期3Q	34,466株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安に伴う輸出採算の改善などが業況感を押し上げ、景気は緩やかに回復しつつあります。先行きにつきましても、非製造業は横這いではありますが、製造業は円安効果による数量面での改善が予想されております。

このような環境の中で、当社は『収益改革』、『営業強化』の2つを基本方針に経営基盤の改善に取り組み、①経営資源の集中によるスピード感ある事業拡大の推進、②営業人員の増員による営業体制の強化、③製造原価の低減及び経費の削減を進め、事業の拡大と収益性の向上を目指した活動を展開してまいりました。

これらの活動の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高939百万円（前年同期比30.0%減）、営業損失26百万円（前年同期は75百万円の損失）、経常損失35百万円（同96百万円の損失）、四半期純損失44百万円（同98百万円の損失）となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

医療画像事業

医療画像事業においては、全国の中核病院及び健診施設を中心にPACS（医療画像保管・配信・表示システム）、ConnectioRIS（放射線部門情報システム）、ConnectioMed（診療情報統合システム）、遠隔画像診断支援サービスなど、医療ITソリューション事業を展開してまいりました。

当第3四半期累計期間の売上高は756百万円（前年同期比22.6%減）となりましたが、ConnectioRISやマンモグラフィー（乳房X線撮影）対応型PACSなどの高収益性開発商品の営業活動に積極的に取り組んだ結果、営業利益は97百万円（同32.5%増）を計上しました。

今後も引き続き、営業体制の強化による営業活動注力に取り組んでまいります。

衛星画像事業

衛星画像事業においては、引き続き『地上から宇宙まで』をテーマに、レーダ衛星を用いた衛星画像販売、及びUAV（小型無人飛行機）、Pix4UAV（UAV専用写真測量システム）、携帯型分光放射計、PIV（海象監視）システム等のプロダクト販売を展開し、官公庁、大学、研究機関への営業活動を推進してまいりました。当第3四半期累計期間の売上高は182百万円（前年同期比49.9%減）となりましたが、営業利益は大幅に改善し18百万円（同400.1%増）を計上しました。

今期は、携帯型分光放射計、UAV、Pix4UAV、及びレーダ衛星RADARSAT-2を活用した安全保障分野での受注が好調に推移しておりますが、土砂災害法に基づく河道閉塞箇所の調査にも昨年から取り組んでおり、今後とも防災・減災に向けて有益な情報を発信してまいります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は534百万円(前事業年度末比15.6%減)となりました。これは現金及び預金が44百万円、前渡金が51百万円減少したこと等によります。

固定資産は259百万円(同4.7%増)となりました。これは投資有価証券が18百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は793百万円(同9.9%減)となりました。

(負債)

流動負債は241百万円(前事業年度末比14.7%減)となりました。これは買掛金が38百万円減少したこと等によります。

固定負債は196百万円(同8.9%減)となりました。これは長期借入金が11百万円、社債が7百万円減少したこと等によります。

この結果、負債合計は438百万円(同12.1%減)となりました。

(純資産)

純資産合計は354百万円(前事業年度末比6.9%減)となりました。これは利益剰余金が44百万円減少し、その他有価証券評価差額金が18百万円増加したこと等によります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年9月期(通期)の業績予想につきましては、平成24年11月12日付「平成24年9月期 決算短信(非連結)」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	184,976	140,204
受取手形及び売掛金	299,432	270,099
商品	32,314	39,458
仕掛品	8,698	32,050
前渡金	85,368	34,111
その他	22,241	18,406
貸倒引当金	△102	△92
流動資産合計	632,930	534,238
固定資産		
有形固定資産	4,441	3,928
無形固定資産		
ソフトウェア	113,876	79,991
その他	6,199	37,655
無形固定資産合計	120,076	117,647
投資その他の資産		
投資有価証券	73,585	91,751
その他	50,258	46,703
貸倒引当金	△949	△949
投資その他の資産合計	122,894	137,505
固定資産合計	247,412	259,081
資産合計	880,342	793,320
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,348	114,240
1年内償還予定の社債	14,200	14,200
1年内返済予定の長期借入金	36,120	40,128
未払法人税等	5,566	3,485
リース債務	1,579	1,620
製品保証引当金	9,434	5,822
その他	63,891	62,146
流動負債合計	283,140	241,642
固定負債		
社債	78,700	71,600
長期借入金	133,480	122,382
リース債務	2,824	1,604
退職給付引当金	996	1,276
固定負債合計	216,000	196,862
負債合計	499,141	438,504

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	949,601	949,601
資本剰余金	92,599	92,599
利益剰余金	△520,872	△565,424
自己株式	△111,949	△111,949
株主資本合計	409,378	364,826
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△28,177	△10,011
評価・換算差額等合計	△28,177	△10,011
純資産合計	381,201	354,815
負債純資産合計	880,342	793,320

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位: 千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,342,167	939,345
売上原価	1,059,705	635,350
売上総利益	282,462	303,995
販売費及び一般管理費	357,541	330,939
営業損失(△)	△75,079	△26,943
営業外収益		
受取利息	67	6
受取配当金	902	909
有価証券利息	—	3,663
その他	114	473
営業外収益合計	1,085	5,053
営業外費用		
支払利息	5,839	2,778
為替差損	501	3,837
支払手数料	14,446	5,388
その他	1,259	1,322
営業外費用合計	22,047	13,328
経常損失(△)	△96,040	△35,218
特別損失		
固定資産除却損	3	—
事業所退去費用	—	6,033
特別損失合計	3	6,033
税引前四半期純損失(△)	△96,044	△41,251
法人税、住民税及び事業税	2,198	3,300
法人税等合計	2,198	3,300
四半期純損失(△)	△98,242	△44,551

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	977,758	364,409	1,342,167	—	1,342,167
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	977,758	364,409	1,342,167	—	1,342,167
セグメント利益又は損失(△)	73,746	3,760	77,507	△152,586	△75,079

(注) 1 調整額に記載されているセグメント利益又は損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△152,586千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	756,886	182,458	939,345	—	939,345
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	756,886	182,458	939,345	—	939,345
セグメント利益又は損失(△)	97,732	18,806	116,539	△143,482	△26,943

(注) 1 調整額に記載されているセグメント利益又は損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△143,482千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。